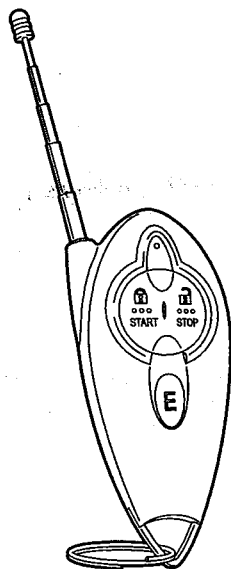


リモートスタート取扱書



このたびはトヨタ純正リモートスタートをお買いあげいただき、まことにありがとうございます。

目次

1	リモートスタートシステムの特徴..	3
2	安全のために必ずお守り いただきたいこと	4
3	送信機の操作方法	6
4	知っておいてください	8
5	お車からはなれるときのお願い ..	9
6	取り扱い上のご注意	10
7	送信機の電池交換方法	11
8	暖機時間切替方法	12
9	故障かな？と思ったら	14
10	仕様	15

ご使用の前にこの取扱書を必ずお読みいただき、正しい取り扱い方法により長くご愛用くださるようお願い申し上げます。

尚、この取扱書はいつもお手元に置いてご使用ください。

本品を他のお客様にお譲りになる時は、必ず本書も合わせてお渡してください。

△ 注意

マニュアルトランスミッション車には、絶対に取り付けしないでください。
車両の発進等による重大な事故が起こる場合があります。

この取扱書では安全にご使用いただくため、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています。

 **注意** : 注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車の火災・損傷などのおそれがあります。

 **アドバイス**: より安全、快適にご使用いただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

 **処置** : 万一の時の処置方法

マーク表示事項は特によくお読み願います。

尚、必要な時以外、本製品でむやみにエンジンを始動させることは避けてください。

— 道路交通法に関する厳守事項 —

公道でエンジンをかけたまま車両を無人で放置すると、道路交通法違反になります。私有地でのみご使用願います。

(公道とは、公共施設・スーパー・月極め等の駐車場や河川敷・神社の境内等、不特定多数の車が出入りできる場所を含みます。)

— 電波法に関する厳守事項 —

このシステムの送信機は、電波法に基づく特定小電力無線設備として技術基準適合証明を受けています。必ず以下のことをお守りください。

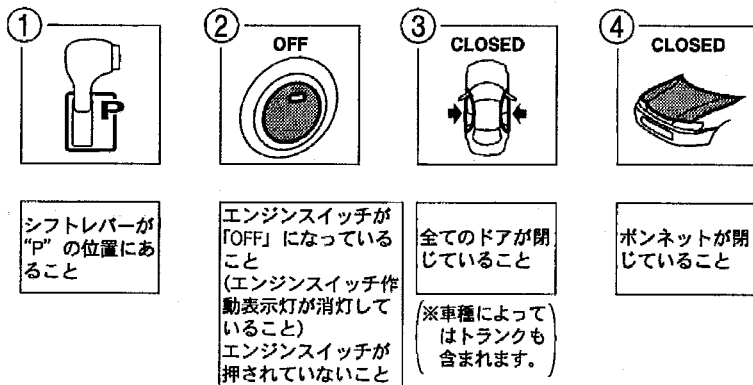
- ・ ネジをはずさないでください。分解、改造したものを使用することは、法律で禁じられています。
- ・ 証明ラベルをはがさないでください。証明ラベルのないものの使用は禁止されています。(送信機裏面に貼ってあります。)
- ・ 海外での使用の際には、その国の電波関係法に従ってください。

尚、お客様は電波法に係わる免許申請等の手続きは必要ありません。

1 リモートスタートシステムの特長

- リモートスタートシステムにより、エンジンの始動、ドアの施錠及び解錠が遠隔操作できます。

ただし、安全確保のため以下の条件を全て満たしていないと送信機を操作してもエンジンは始動しません。



また、送信機でのエンジン始動後も上記条件が1つでも解除されるとエンジンは自動的に停止します。

尚、エンジン始動後にメーター内の充電警告灯が点灯した時にもエンジンは自動的に停止します。

- 送信機によるエンジン始動後、遠隔操作でエンジンを停止できます。尚、一定時間（10分から60分）経過するとエンジンは自動的に停止します。
(暖機時間の切替方法は12ページを参照ください。)

- 車両バッテリーの負担を軽くするために、約9日間車をご使用にならないと機能を停止し、送信機による全ての機能は行えなくなります。

再び操作できるようにするには、一旦、エンジンスイッチを「ON」にして2秒以上たってから「OFF」にしてください。

- 車両によっては、エアコンが自動的に作動します。

(詳しくは、トヨタ販売店にご確認ください。)

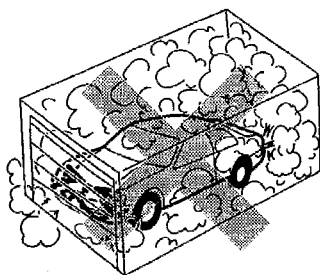
リモートスタートシステムによりエンジン始動する際、外気温（5℃以下または25℃以上）により自動的に冷暖房がはいります。なお、外気温が5℃以下のときにはフロントデフロスタおよびリヤウィンドーデフォグも自動的にはいります。

- 送信機によりエンジン始動後、一定時間（初期設定は10分）経過するとエンジンは自動的に停止します。ただし、ハイブリッド車においては一定時間以内であっても、水温が上昇するとエンジンが自動的に停止することがあります。その後、水温が下がるとエンジンが再始動する場合がありますが故障ではありません。
(なお、エアコンスイッチが「ON」状態で始動した場合は、車室内温度が設定温度に達するとエンジンが自動的に停止する場合があります。)

2 安全のために必ずお守りいただきたいこと

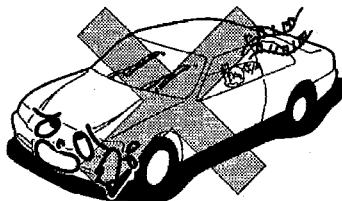
△ 注意

- 換気の悪い車庫や屋内駐車場では、絶対にエンジン始動を行わないでください。
排気ガスが充満し、排気ガスによる中毒のおそれがあり危険です。



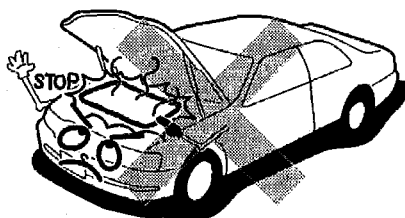
△ 注意

- 万一の事故防止のため、車内でのエンジン始動操作は絶対に行わないでください。
また、お子様、ペットが車内にいるときもエンジン始動を行わないでください。エンジン始動により、室内はエンジンスイッチで「ON」した場合と同じ状況となり、ワイパーやラジオ、パワーウィンドーが動く状態になり大変危険です。



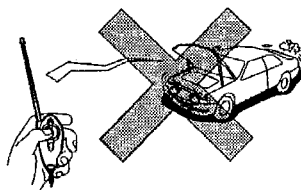
△ 注意

- 暖機運転の直後に運行前点検を行うのは、火傷をするおそれがあり危険です。
エンジン停止後、少なくとも5分程度経過した後、十分注意して行ってください。



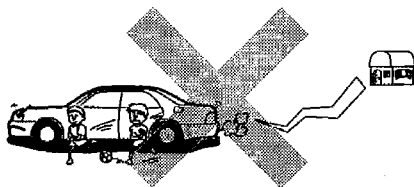
△ 注意

- ボンネットが開いている時には送信機を操作しないでください。
開閉を検出するスイッチが誤って押されている場合、意図せずエンジンが始動して巻き込み事故等の原因になり危険です。



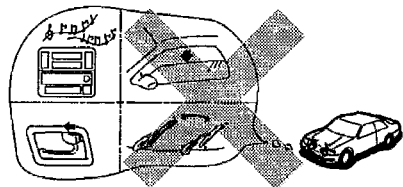
△ 注意

- 送信機の電波は周辺環境により、思わぬ遠方まで届く場合がありますので、むやみにスイッチを操作しないでください。また不意のエンジン始動による思わぬ事故を防ぐために、車両の周囲の安全を十分確認できる範囲でのみご使用ください。また、小動物がエンジンルーム内に入り込まないようご注意ください。



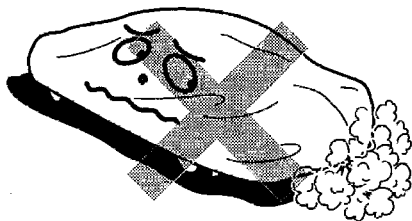
△ 注意

- 暖機中の思わぬ事故を防止するためあらかじめ駐車時には以下のことを守ってください。
- ・ ワイパー、ラジオ（オートアンテナ車の場合）を OFF にしてください。エンジン始動を行ったときに動き出すので危険です。また凍結した場合、モータが損傷するおそれがあります。
- ・ 全ての窓を閉め、ドアを施錠（ロック状態）してください。



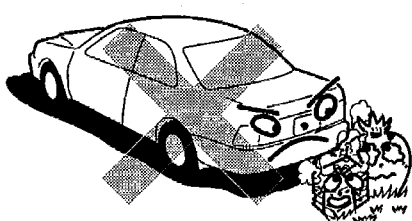
△ 注意

- 車両にボディーカバーを掛けたまままでエンジン始動を行わないでください。高温になった排気管や排気ガスが原因で、火災になるおそれがあり危険です。



△ 注意

- 草の上や燃えやすい物の近くでは、エンジン始動を行わないでください。高温になった排気管や排気ガスが原因で、火災になるおそれがあり危険です。



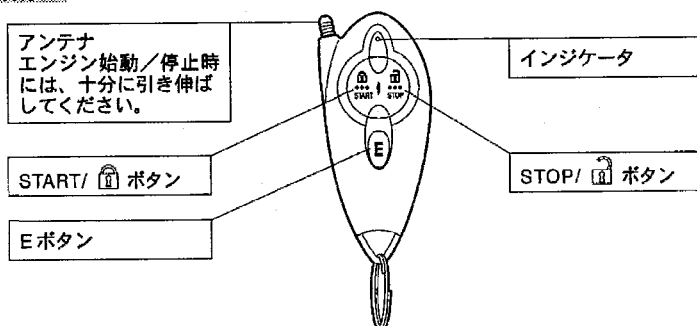
3 送信機の操作方法

送信機の電波の到達距離は周囲の状況により異なります。思いのほか遠方まで届く場合もありますので、不意のエンジン始動による事故を防ぐために車両状況を確認できる範囲でご使用願います。

— ご使用の前に —

あらかじめ 9 ページに記載の条件が満たされていることをご確認ください。

各部の名称



操作方法

＜エンジン始動＞

- ① 「E」 ボタンを押してください。
(インジケータが点滅)
↓
- ② インジケータが点滅中 (約 2 秒間) に「START」 ボタンを押してください。(インジケータが点灯)

【確認】

信号を受信し、始動条件 (→ 9 ページ) が整っていれば、約 4 秒後にハザードランプが 1 回点滅します。

＜エンジン停止＞

- ① 「E」 ボタンを押してください。
(インジケータが点滅)
↓
- ② インジケータが点滅中 (約 2 秒間) に「STOP」 ボタンを押してください。(インジケータが点灯)

【確認】

信号を受信するとハザードランプが 1 回点滅し、エンジンが停止します。

＜ドアの施錠＞

- ① 「」 ボタンを短く (1.5 秒以内)
押してください。
(インジケータが点灯)

＜ドアの解錠＞

- ① 「」 ボタンを短く (1.5 秒以内)
押してください。
(インジケータが点灯)

👉 アドバイス

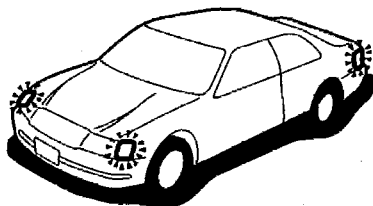
- ・ アンテナは収納状態でも車両より約 5m 以内なら十分ご使用になれます。
- ・ ドアを送信機により解錠しても 30 秒以内に開けられない場合には、自動的にドアが施錠されます。

＜便利な機能をご利用ください＞

駐車場等で駐車場所を忘れてしまった時、電波が届く距離かどうか不安な時、車のハザードランプで確認することができます。

＜確認方法＞

- ① 「」 ボタンを長く (1.5 秒以上)
押してください。
(インジケータが点灯)
↓
② 車両のハザードランプが約 3 秒間
点滅を繰り返します。



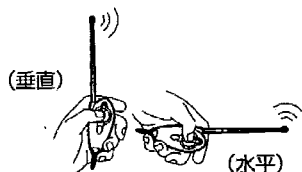
※ エンジンスタート/ストップ操作をした場合でも、車両のハザードランプは 1 回点滅しますが、その場合にはエンジン始動/停止をします。

「」 ボタンを長く押した場合には、ドアの施錠後にハザードランプの点滅をしますが、エンジンの始動/停止には影響しません。

4 知っておいてください

送信機を操作する上で、次の事項を知っておいてください。

- 周囲の状況により異なりますが、送信機の持ち方で電波の到達距離は変化します。一般的には送信機を垂直に立ててお使いの方が、電波は遠くまで届きます。また、アンテナに手などを触れると電波が飛びにくくなります。
- くり返し送信する場合には、インジケータ消灯後2秒以上待ってからスイッチを押し直してください。2秒経過するまでは送信できないようになっています。
- 送信機によるエンジン始動後、エンジン停止操作が行われない場合には、一定時間（10分から60分）で自動的にエンジンは停止します。暖機時間の切替方法は12ページを参照ください。
- エンジンスイッチによるエンジン始動の際には、送信機でのエンジン停止はできません。
- 耐盗難性の向上をはかるため送信機によるエンジン始動時に、強制的にドア施錠（ロック）状態にしてエンジン始動を開始します。



車両標準スマートキーによるワイヤレス機能及びスマート機能は、本製品による暖機中に作動距離が短くなったり、作動しなくなったりする場合があります。その場合、本製品の送信機をご使用ください。

ハイブリット車両は、バッテリー脱着を行った場合、一度エンジンスイッチでエンジン始動を行ってください。
この操作をしないと、リモートスタートが使用できません。

5 お車からはなれるときのお願い

リモートスタートをご使用になるときは、事前に必ず下記の①～④の始動条件を確認してください。1つでも満たされていないと、危険性があると判断して作動しないようになっていますので、送信機を操作してもエンジンは始動しません。

- ① シフトレバーが“P”の位置にあること。
- ② エンジンスイッチが「OFF」になっていること。
エンジンスイッチが押されていないこと。
- ③ 全てのドアが閉じていること。
- ④ ボンネットが閉じていること。

▲ 注意

不意のエンジン始動などによる思わぬ事故を防止するために、降車時には以下のことをお守りください。

- ・ ワイパー、方向指示器を OFF にしてください。
- ・ 全ての窓を閉めてください。
- ・ ドアを施錠（ロック状態）にしてください。

▲ 注意

車両の付近に可燃物を放置しないでください。

- ・ 車両後方や排気管付近に燃えやすいものがあると火災になるおそれがあり危険です。
- ・ 木材、ベニア板などが車両後方にあるときは、車両後端を 30cm 以上離して止めてください。すき間が少ないと排気ガスによって変色や変形したり火災になるおそれがあり危険です。
- ・ 枯れ草や紙くずなど燃えやすいものの上に、車を止めないでください。排気管や排気ガスは、高温になり可燃物が近くにあると火災になるおそれがあり危険です。

6 取り扱い上のご注意

本システムの故障や思わぬ事故を防ぐために、次の注意事項をお守りください。

- エンジン始動後も充電警告灯が消灯しない場合は、お車の取扱書に従いトヨタ販売店へご連絡ください。

＜送信機＞

- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、極端な高温・低温の場所での保管または使用は避けてください。
- 床に落としたり、固いものにぶつけたりしないでください。
- アンテナに強い力がかかるような取り扱いはいしないでください。
- 直接水がかかるような使用方法、または保管方法をしないでください。正常に作動しなくなることがあります。
- 分解や改造は絶対にしないでください。
- お子様の手の届かない場所に保管してください。
- 万一、紛失した場合や異常があった場合は直ちにトヨタ販売店へご連絡ください。
- 他人に車を貸したりスマートキーを預けるときにも、万一の事故防止のため必ず送信機は渡さないようにしてください。

＜アンテナ＞（フロントインパネ上に貼り付けてあります。）

- 乗車、荷物搭載時に強い衝撃や無理な力をかけないでください。

◆送信機のお手入れの方法

汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤をしみこませた布で拭いて、その後カラ拭きをしてください。（ベンジン、シンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。）

水をかけたり、水中に落としたりしないようにしてください。

◆長時間ご使用にならないとき

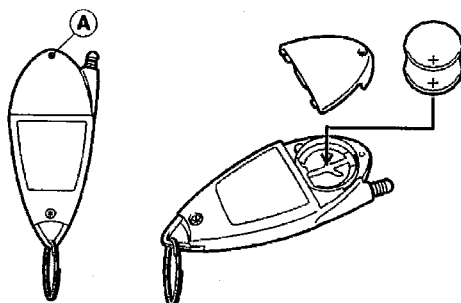
- 送信機の電池を抜いてください。

7 送信機の電池交換方法

＜使用電池＞リチウム電池（CR2016）2 個

（電池は電気店等でお買い求めください）

- ①送信機の裏側の図示A部のネジをはずして、電池のフタを取りはずします。
- ②中にある電池2個を全て抜き取ります。
- ③新しい電池を、図のように+表示を上にして入れます。
- ④電池のフタをネジで止めます。



👉 アドバイス

- ・ 電池は2 個共交換してください。
- ・ 接触不良を防ぐため、使用する前に電池を乾いた布でよく拭いてください。

⚠ 注意

- ・ 電池は、特に幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合には、ただちに医師にご相談ください。
- ・ 金属製のピンセットなどで電池をつかまないでください。ショートし、発熱するおそれがあります。
- ・ 取りはずした電池は、分解や加熱をしたり火の中に入れたりしないでください。破裂するなどの危険があります。

8 暖機時間切替方法

暖機時間を10から20分、30分、60分に切り替えることが可能です。必要に応じて以下の手順で切り替えてください。(お買い求めの際には10分の設定になっています。)

暖機時間切替方法

1. 車両を以下の状態にしてください。

- ・ボンネットを閉める。
- ・全てのドアを閉める。(トランクを含む)
- ・エンジンスイッチを「OFF」にする。



2. 運転席ドアを開けてから10秒以内に送信機でエンジン始動操作(6ページ参照)を行ってください。
(車両のエンジンは始動しません。)



3. エンジン始動操作から10秒以内にエンジンスイッチの「ON」→「OFF」操作を行ってください。



4. 現在設定されている暖機時間をブザーの吹鳴回数※1で表示します。

- ※1
- | | | |
|----|-----|-----|
| 1回 | ・・・ | 10分 |
| 2回 | ・・・ | 20分 |
| 3回 | ・・・ | 30分 |
| 6回 | ・・・ | 60分 |



5. ブザー吹鳴後30秒以内に新しく設定したい暖機時間の回数※2だけ運転席のドアの開⇄閉を行い、エンジンスイッチの「ON」→「OFF」操作を行ってください。

- ※2
- | | | |
|-----|-----|----|
| 10分 | ・・・ | 1回 |
| 20分 | ・・・ | 2回 |
| 30分 | ・・・ | 3回 |
| 60分 | ・・・ | 6回 |



6. 新しく設定された暖機時間の回数※3だけハザードランプが点滅します。

- ※3
- | | | |
|----|-----|-----|
| 1回 | ・・・ | 10分 |
| 2回 | ・・・ | 20分 |
| 3回 | ・・・ | 30分 |
| 6回 | ・・・ | 60分 |



切替終了

アドバイス

- ・ 暖機時間の切替は、各操作が規定時間内に行われない場合には無効となります。もう一度最初からやり直してください。（無効となった場合には、メータ内の警告灯が点灯せず、ハザードランプも点灯しません。）
- ・ 切替方法1の車両条件が満たされていることを確認のうえ、操作を行うようにしてください。
- ・ 暖機時間切替時のブザー音が車両ウォーニングブザーと重なったり、周囲の雑音等により聞き取りにくい場合があります。
受信機（ブザー音源）は助手席足元付近にありますので、ブザー音に注意し暖機時間切替を行ってください。

注意

- ・ 不用な暖機は、ご近所の迷惑になります。
4、5ページの記載事項をお守りいただき、必要に応じて暖機を行うようにしてください。

9 故障かな？と思ったら

トラブル発生時には、修理を依頼される前に以下のチェックを行ってください。
《送信機の操作でエンジンが始動しない》

*** 送信機のインジケータが点灯しない場合**

チェック項目	実施項目
送信後すぐに再操作していませんか？	インジケータ消灯後、2秒間は次の送信ができません。2秒以上待ってから操作してください。
電池は正しくセットされていますか？	『送信機の電池交換方法』をお読みのうえ、正しくセットしてください。
電池が消耗していませんか？	新しい電池(2個共)と交換してください。

*** 送信機のインジケータが点灯している場合**

バッテリー脱着後エンジンスイッチでエンジン始動を行いましたか？ (ハイブリット車両のみ確認)	一度エンジンスイッチでエンジン始動を行ってください。
9ページの条件は、満たされていますか？	条件を満たしてください。
送信機のアンテナは十分に引き伸ばされていますか？	十分に引き伸ばしてください。
車との距離が離れすぎていませんか？	作動可能距離で操作を行ってください。

《送信機の操作でエンジンが停止しない》

送信機のアンテナは十分に引き伸ばされていますか？	十分に引き伸ばしてください。
車との距離が離れすぎていませんか？	作動可能距離で操作を行ってください。

《作動可能距離が短い》

送信機のアンテナは十分に引き伸ばされていますか？	十分に引き伸ばしてください。
電池が消耗していませんか？	新しい電池と交換してください。

△ 処置

以上を点検してもトラブルが解消されない場合には、以下の処置を行ってください。

1. 送信機により「エンジン停止」操作を2回連続行ってください。
(操作後、正常動作をしない場合は処置2へ)
2. お買い求めのトヨタ販売店にご連絡ください。

10 仕様

送信機	
技術基準	RGR標準規格 テレコントロール用 無線設備適合 426MHz帯
送信時間	2.5秒以下
送信休止時間	2.1秒以上
送信アンテナ	内蔵ロッドアンテナ
使用電池	リチウム電池 CR2016 (2個)
電池寿命	送信操作で約7000回
ケースサイズ	76mm×33mm×17mm
重量	23g (電池含まず)

受信機	
アンテナ	車室内に設置
作動温度範囲	-20℃～+70℃
作動電源電圧	DC8V～16V
消費電流	(動作時) 450mA以下 (待受時) 約5mA
ケースサイズ	131mm×91mm×27.5mm (突起部含まず)
重量	154.6g

ご不明な点はお買い求めのトヨタ販売店へお問い合わせください。

トヨタ自動車株式会社